

## 上越地域活性化セミナー

部門	月日	時間	テーマ	講師	セミナー概要
IT部門	12月2日(金)	15:00 ～ 17:00	ITスキル標準(ITSS)	島田高司 (独立行政法人 情報処理推進機構)	ITスキル標準の取り巻く環境とITサービス産業の現状を地域及び中小企業のビジネス環境から、今後のビジネス展開にどのようにしてITスキル標準を活用しプロフェッショナル人材育成を行うべきか、プロフェッショナル人材育成の必要性から 評価の考え方を説明する。そして、プロフェッショナル人材とは、ただプロフェッショナルリティの高い技術者だけを指すのではなく、ビジネスを成功させるための人材であることとして理解して頂きたいと考えております。
	12月3日(土)	10:00 ～ 12:00	Webコンテンツ構築技術の最新動向	田中章雄 (マクロメディア CTO)	高度情報化社会といわれるようになって久しい現在、インターネット上での情報提供手段としてのWebサイトは、ますます量、質ともに増大してきている。より充実したコンテンツを提供する構築手段も大きく様変わりしてきている。コンテンツサイト構築時にハンディを持つ人にもきちんと情報を伝えようとするアクセシビリティやアクセスする人の使い勝手の良さを考えるユーザビリティなどの配慮も重要となっている。Flashなどの今のWebサイト構築には必要不可欠な技術を提供し続ける米マクロメディア社の副社長でCTOの講師を上越に向かえ、最新のWebコンテンツ構築の技術動向や話題をお聞きする。
		13:00 ～ 14:30	個人情報保護とセキュリティ	山崎文明 (工学院大学 講師・グローバルセキュリティエキスパート 会長)	個人のプライバシーを守ることを考えていたはずの個人情報の保護とセキュリティ対策がいつの間にか、個人情報そのものを守ることになってしまい、これまで個人情報共有することで成り立っていた地域の人と人の関わりまで大きく変化させようとしています。町内会の役員は、これまで手に入れていた行政からの様々な情報が遮断され、活動の内容が充実できないと悩んでいます。学校では、職員が自宅でできていた作業の多くが禁止され、残業も自由にできない社会環境・労働環境の中であえいでいます。これまで内閣官房や警察庁などの多くの場面で、情報セキュリティのスペシャリストとして活躍してこられた講師と一緒に、守るべき情報、その情報とのかかわり方を考えます。
		15:00 ～ 16:30	Windows Vista の概要	(マイクロソフト)	来年の秋にリリースが予想される WindowsVista (コードネーム Longhorn) は、多くの人々から期待を持ってその発売が待たれています。一体今度のリリースでなにがどのように変わるのか、マイクロソフトの担当者からお話いただけます。また、当日はベータ版もご覧いただける予定です。
教育	12月2日(金)	15:00 ～ 17:00	中越大震災 そのとき学校は	春日良樹(上越市立末広小学校長・前小千谷市立川井小 校長) 新崎俊博(川口町立田妻山小 教頭) 中島憲一(上越教育事務所・前小千谷市立塩殿小 校長)	青天の霹靂と呼ぶにふさわしい、平成16年10月23日、午後5時56分、大地の氾濫、身体で激震を受け止め、死の淵を覗かされた恐怖を心の奥深くにしまいこんで子どもたちが、地域の人々が心の拠り所を求めて続々と学校に集まってきました。学校を預かるものは、正に手探りで懸命に最善の対応を模索しました。災害時において、学校が果たす役割は…。災害に備えた危機管理体制は…。すぐ身近で起きた中越大震災の教訓に学び、学校を利用する人、学校を守る人、それぞれが自らの問題として一緒に考えるチャンスを設定しました。
		10:00 ～ 12:00	品川区の学校教育改革	吉村潔(品川区教委 小中一貫教育担当課長・統括指導主事) 和氣正典(品川区教委 小中一貫教育担当主査)	学校選択制、小中一貫教育、小学校の教科担任制など、次々に打ち出される品川区の学校教育改革。その目指すところについては、その賛否に世論沸騰、百家争鳴のこの学校教育改革に私たちは何を見出すのか、外から眺めているだけではその全貌は見えません。上越のあるべき姿、進むべき方向を求め、まずは、話を聞いてみようとして品川区教育の現場、行政の立場からそれぞれのご担当をお招きしました。この改革に追随するにも、違った道を模索するにも、まずは当事者のお話をしっかりお聞きしてみましよう。

部門	月日	時間	テーマ	講師	セミナー概要
部	12月3日(土)	13:00 ~ 14:30	子どもたちの過敏症・アレルギーに学校はどう対応するか	杉田 収(新潟県立看護大学教授)	児童・生徒が集団で体調不良を訴える「シックスクール」や、登校できない「化学物質過敏症」、さらに喘息の増加が社会問題になっている。 化学物質過敏症とアレルギーにはどの程度の関連性があるのか、また化学物質過敏症やアレルギーにならないためにはどうするか。さらに、なってしまったらどう対処するかなどにお聞きする。これらの発症は体には不都合な状態ではあるが、体はまだ一所懸命に異物と戦っている状態である。これに私たち周りにいるものはどう支援できるのか、考えてみましょう。
		15:00 ~ 16:30	人で変わる学校図書館 - 司書教諭と学校司書の関わりを考える -	塩谷京子(静岡市立東豊田小学校 司書教諭)	子どもたちにたくさんの図書と触れ合う機会を作りたい。それを多くの大人たちが願い、学校では様々な形でそのための努力がされてきました。 学校司書(学校図書館補助員)や司書教諭、さらに保護者や地域の皆さんによる図書ボランティアが長年に渡り、学校図書館を支えています。 今後、これらの人々の力をどのように結集し、どのように形づくっていくれば、私たちが目指している学校図書館は実現していくのでしょうか。 姉妹都市静岡市内の学校で長い間努力され、大きな成果を上げておられる講師の歩みや想いをお聞きしながら、上越市の目指す学校図書館と一緒に考えてみませんか。
G I S 部	12月2日(金)	13:30 ~ 14:50	「最先端技術による緊急・災害時の安否確認等情報提供」 -行政危機管理支援地理情報システムの事例紹介-	桐尾美知宏(NPO 北海道GIS技術研究会)	高齢化が加速しようとする現在、緊急時の災害弱者対策が地方自治体の緊急な課題として突きつけられている。ここでは全住民(65歳以上、弱者、障害者を含む)の相互助け合いを目的に作成管理されている諸票をデータベース化し、介護活動、救助活動、消防活動、自然災害時の救急・避難対策時に行政各部署への情報提供を的確かつ円滑に支援するGIS活用事例を紹介します。
		15:00 ~ 17:00	電子自治体実現のための住民向け地図情報サービス -ASP方式による住民向け地図情報サービス事例紹介-	北川正巳(株式会社バスコ)	ASP方式による住民向け地図情報サービス事例のご紹介です。市区町村や各官公庁のホームページを活用し、住民向けに特化したシステムにするには操作性等、利用者を選ばない使い易いシステムとする事が必要になります。ASPの有効性と産官民連携した地域情報化を実感してください。
	12月3日(土)	10:00 ~ 12:00	高精度位置情報提供システム活用による 大縮尺地図共同利用への可能性	宮下寿幸(くびき野GIS協同組合)	地域情報化に向けて大縮尺背景地図データの有用性については実証されているが、その整備・維持には多くの問題が上げられている。新たに地域全体の整備をしようとするれば膨大な費用を要し、整備後のメンテナンスについても多大な費用と労力を要し、昨今の財政事情等を考慮すれば困難な状況下といえる。そこで官民連携により国、県、市町村の既存資産として存在する大縮尺背景地図データをデータセンターに集積しGISを活用し共同利用できる環境整備の可能性を探ります。
		13:00 ~ 14:30	中越地震発生！GIS・GPSはどのように活躍したのか！ -災害直後の被災状況の把握そして復興にどう活用されたのか-	坂井宏子(にいがたGIS協議会)	甚大な被害とそこに住む人々に深い悲しみを与えた中越大地震、地震発生直後まっしぐらに駆けつけた様々なボランティアの中に、GIS、GPSという最新情報技術を提供し被災状況の把握と復興に全力を注いだプロジェクトスタッフがいた。ここでは現場の第一線で活躍したスタッフから実体験をもとにGISとGPSの有効性を具体的に説明します。ご期待ください。